

科目名	ファッションマーケティング & プランニングⅡ	整理番号	
学科	ファッションプロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	新家草秀

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識とファッション産業における商品知識を講義と演習により習得し、ファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成する。

【科目の概要】

ファッションビジネスの基礎知識を中心に、ファッション商品が出来上がるまでの流れと、企業の組織と機能を講義やグループワークにより学ぶ。また、ファッション商品知識をレポートやプリントにより学ぶ。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	利益構造の構築について	31	ブランド説明の作り方
2	ブランド全体像	32	SWOT分析
3	経費について	33	貸切バス事業の新業態
4	高付加価値の付け方	34	新業態のアイデア出し
5	粗利率アップのアクション	35	アパレル業界の課題と成長ポイント
6	残在庫削減の方法	36	ユニクロの農業への新規参入の失敗の事例
7	3Rについて	37	アパレル業界から異業種への参入
8	消化率について	38	社会貢献の視点で新業態を考える
9	ユニクロの戦略分析	39	店舗出店減少の現状と課題
10	クレームゲームの戦略	40	価格戦略の二極化
11	おにぎりビジネスの利益構造	41	アパレル業界で客単価アップのターゲット
12	4P視点で利益構造を考える	42	Apple の新業態開発の軌跡
13	ビジョンの立て方	43	サウナ業界への参入
14	戦略マップ	44	本屋の強みと健康ビジネス
15	アイデア出しのキーワード	45	飲食業界の新業態事例
16	差別化のアイデア	46	くら寿司の新革命: エンタメ× 寿司
17	ランドセルの戦略	47	ビジョンの意味・作り方
18	コインランドリーの利益構造	48	オークションと社会貢献
19	VIP戦略	49	ヴィンテージジーンズの高騰
20	チョコザップの戦略に学ぶ	50	表現方法・高付加価値
21	スーツケースの戦略	51	B2Bのメリット・デメリット
22	サブスクなどビジネスモデル	52	Z世代とα世代の違い
23	レンタルビジネスのメリット	53	還暦世代マーケットが注目
24	世代別の特徴	54	利益構造の構築
25	変えてはいけないこと	55	ヒット商品誕生の法則
26	SNSと出店戦略	56	「自分基準」と「身内型」個人消費
27	猛暑対策・農歴でMDを考える	57	売れるブランドの作り方
28	プレゼン	58	プレゼン
29	プレゼン	59	プレゼン
30	フィードバック	60	フィードバック

【成績評価方法】

プレゼンテスト30%、提供課題60%、授業態度10%

前期・後期にそれぞれ4回の提出物とプレゼンの評価。加えて授業態度にて評価します。

【教科書・参考書】

1ヶ月以内に起きたファッションビジネスに関連する事例をもとに、それぞれのテーマで、まとめて配布します。サ
ンクス先生のファッションビジネスの授業（WEBテキスト）・これだけは知ってほしいファッションビジネスの教科書（電子書籍）な
ど

【教材・教具】

プリントを配布。パソコン・Google クラスルーム、スライドを使用。

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70 % 実習 30 %
時間数	60	作成者	杉山 佳美
【科目の到達目標】 ファッションビジネスに即したアパレル製品のデザインと企画力を講義と演習により修得する。 また、任意に想定したアパレル企業に向けた商品の企画提案書類が作成できる。			
【科目の概要】 現在のアパレル市場を意識したマーケティング及びビジネス的視点で企画立案しデザインする。また、既存の企業、市場を対象にした商品デザインを企画書類にまとめプレゼンテーション発表する。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1	革素材レクチャー	16	上田学園コレクション デザイン画
2	革素材商品企画	17	上田学園コレクション デザイン画 修正
3	革素材商品企画	18	イタリア研修報告プレゼン作成
4	皮革研修レポート	19	イタリア研修報告プレゼン作成
5	デザイン マインドマップ	20	イタリア研修報告プレゼン作成
6	マインドマップからのアイデア出し	21	イタリア研修報告プレゼン リハ
7	マインドマップからのアイデア出し	22	イタリア研修報告プレゼン フィードバック・修正
8	企画作成レクチャー	23	イタリア研修報告ジャーナル作成
9	企画書作成	24	イタリア研修報告ジャーナル作成
10	企画書作成	25	イタリア研修報告ジャーナル作成
11	企画書作成	26	イタリア研修報告ジャーナル作成
12	企画発表 プレゼンテーション	27	上コレポートフォリオ作成
13	企画発表 プレゼンテーション	28	上コレポートフォリオ作成
14	デザイン画作成	29	上コレポートフォリオ作成
15	前期試験	30	後期試験
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 課題によってプリント配布			
【教材・教具】 筆記用具 ラップトップ 配布レジュメ 画像投影用大型TVモニター			

科目名	服飾実習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10% 実習 90 %
時間数	180	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識とファッション産業における商品知識を講義と演習により習得し、ファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成する。

【科目の概要】

ファッションビジネスの基礎知識を中心に、ファッション商品が出来上がるまでの流れと、企業の組織と機能を講義やグループワークにより学ぶ。また、ファッション商品知識をレポートやプリントにより学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1,2,3	襟のバリエーションドレーピング	46,47,48 カットソーの製図、縫製
4,5,6	襟のバリエーションドレーピング	49,50,51 カットソーの縫製
7,8,9	ショールカラー製図・トワール組	52,53,54 上田学園コレクション作品
10,11,12	ステンカラー製図・トワール組	55,56,57 上田学園コレクション作品
13,14,15	テーラードジャケットの製図・縫い代つけ	58,59,60 上田学園コレクション作品
16,17,18	テーラードジャケットのトワール組	61,62,63 上田学園コレクション作品
19,20,21	部分縫い ・箱ポケット	64,65,66 上田学園コレクション作品
22,23,24	部分縫い ・雨蓋ポケット	67,68,69 上田学園コレクション作品
25,26,27	テーラードジャケットの縫製	70,71,72 上田学園コレクション作品
28,29,30	テーラードジャケットの縫製	73,74,75 上田学園コレクション作品
31,32,33	テーラードジャケットの縫製	76,77,78 上田学園コレクション作品
34,35,36	テーラードジャケットの縫製	79,80,81 上田学園コレクション作品
37,38,39	テーラードジャケットの縫製	82,83,84 上田学園コレクション作品
40,41,42	テーラードジャケットの縫製	85,86,87 上田学園コレクション作品
43,44,45	まとめ・テスト	88,89,90 まとめ・プレゼン

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『テーラリングテクニック』『ジャケット』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式

科目名	コンピュータ演習Ⅱ-A	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義40% 実習60%
時間数	60	作成者	積 高之 / 的場正和

【科目の到達目標】

《前期》服飾ビジネスを題材に、Webマーケティングの基本フレーム(STP/ファネル/KPI)を理解し説明できる。

SEO・SNS・広告・CRMの役割を整理し、目的と予算に応じた施策設計ができる。

データ(GA4等)から課題を発見し、改善提案を作成できる。

《後期》「Shopify」を用いたECサイト構築スキルの習得を主軸とし、自身のブランドをオンラインで展開できる人材を育成する。サイト制作から商品登録、受注・配送管理といったバックオフィス業務までを一貫して経験し、実践的なEC運営能力を身につけることを目標とする。

【科目の概要】

《前期》D2C/ECを前提に、集客→購入→リピートまでの顧客獲得プロセスを学ぶ。

講義で概念を押さえ、ワークで自分のブランド/商品を題材に施策を設計する。

最終課題として、半期のマーケティングプランを作成し発表する。

《後期》Shopifyを用いて、ファッションブランドのECサイトを実際に構築する実践的な講義である。

商品登録、デザイン設定、決済・配送設定などの基本操作を学び、ブランドの世界観を反映したオンラインストアを完成させる。あわせて、運営・更新を前提としたサイト設計や、プロデュース視点でのEC活用を考え方を身につける。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	ガイダンス/ Webマケ全体像・KPI	16	ガイダンスとECビジネスの概観
2	ターゲット設計(ペルソナ/ジャーニー)	17	ブランドデザインの思考法
3	市場・競合分析(3C/SWOT)とUSP	18	ロゴ制作①: アイデアスケッチ
4	ファネル設計とKPIツリー/計測設計	19	ロゴ制作②: デザインの完成
5	コンテンツマケ(企画/編集カレンダー/コピー)	20	Shopify演習①: 環境構築とストア企画
6	SEO基礎(検索意図/キーワード/構成)	21	Shopify演習②: 商品ラインナップ企画
7	LP・商品ページ改善(CVR/UI・UX)	22	Shopify演習③: 商品コンテンツ制作(前編)
8	SNS設計①(Instagram/TikTok 投稿設計)	23	Shopify演習④: 商品コンテンツ制作(後編)
9	SNS設計②(UGC/インフルエンサー/リスク)	24	Shopify演習⑤: 商品登録とコレクション設計
10	広告基礎(リスティング/SNS広告/予算配分)	25	Shopify演習⑥: ストアフロント構築
11	広告運用と改善(ABテスト/CPA・ROAS)	26	Shopify演習⑦: 運営必須ページと各種設定
12	アナリティクス(GA4/UTM/レポート)	27	Shopify演習⑧: 購買シミュレーション
13	CRM・リテンション(メール/LINE/LTV)	28	Shopify演習⑨: 最終課題制作
14	総合演習: マーケティングプラン作成	29	課題発表(プレゼンテーション)
15	テスト	30	理解度確認(テスト)

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリント配布/オンライン資料(Google Search Central、Google Analytics Academy、Meta Blueprint 等)

【教材・教具】

PC(Mac推奨)/スマートフォン/インターネット接続

Googleアカウント(無料)/Googleスプレッドシート等を利用

科目名	コンピュータ演習Ⅱ－B	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	松木まい

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画書類の作成に必要なillustrator・Photoshopの基礎技術を習得する。また、PCでデザイン画の描画着色、グラフィックなデザイン表現を学ぶ。PCを扱うにあたって必要なスキルは、技術の進歩や利用者の感覚の変化により、どんどん変わっていきっている。

【科目の概要】

illustrator・Photoshopを活用し、実践的な企画書類等の作成技術を演習する。
デザイン画の描画・着色、プレゼンテーションシートの作成する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	イラストレーター・フォトショップ スキルチェック	16	上田学園コレクション 仕様書作成 1
2	ペンツール基礎演習	17	上田学園コレクション 仕様書作成 2
3	ハンガーイラスト 1	18	上田学園コレクション 仕様書作成 3
4	ハンガーイラスト 2	19	上田学園コレクション 仕様書作成 4
5	フォトショップ基礎演習	20	上田学園コレクション 仕様書作成 5
6	イラストレーター スタイル画 描画 1	21	上田学園コレクション 仕様書作成 6
7	イラストレーター スタイル画 描画 2	22	ショップ企画 1
8	スタイル画 着色 1	23	ショップ企画 2
9	スタイル画 着色 2	24	ショップ企画 3
10	上田学園コレクション プレゼンシート 1	25	ショップ企画 4
11	上田学園コレクション プレゼンシート 2	26	ショップ企画 5
12	上田学園コレクション プレゼンシート 3	27	ショップ企画 6
13	イラストレーター演習：ショップVMD1	28	ショップ企画 7 プレゼン発表
14	イラストレーター演習：ショップVMD2	29	ショップ企画 8 プレゼン発表
15	試験	30	試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

レジュメ、課題シート等をデータで配布

【教材・教具】

筆記用具 自前のPC

科目名	キャリアデザイン I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 60 % 演習 40 %
時間数	30	作成者	松山 亨
【科目の到達目標】			
キャリアデザインを構築するために、自己理解を進める自己分析手法を知り、自分自身の強みが何かを把握する。また、どのような働き方していくことが職業人として最適かを、自分軸で具体的に考える素地を養い、強みを発揮するための希望業種業態を調査し、仕事そのものの本質的理解と仕事の多様性、働き方の本質について理解する			
【科目の概要】			
自己理解を通して、キャリアデザインについて具体的に言語化する作業を行う 自分自身のキャリアアンカーを知り、同時に強みを最大化しながらキャリアデザイン構築のための具体的作業を行う。今後のキャリアデザインに向け、具体的な働き方、働く姿をイメージする			
【授業計画】			
90分/コマ		後期	
1	本科の概要説明 人生100年時代のキャリアデザイン		
2	自己理解: 自分とは何者か 自分を知る		
3	3つの自己概念 キャリアデザインを構成する3要素を知る		
4	今後のキャリアデザインに向けてどのように行動するか具体的方法を考える		
5	自己理解を進める ①自分のタイプ(3レターコード)を知る		
6	自己理解を進める ②自分自身の興味関心を明確にする		
7	自己理解を進める ③自分自身の強みとは何か		
8	働き続けるためのこだわり、キャリアアンカーを理解する		
9	自分自身のキャリアアンカーとは何か		
10	強みを生かしたキャリアデザインを考える		
11	自分自身の持つ強みとキャリアアンカーの融合を考える		
12	具体的な就職先をイメージする		
13	自分の強みと実際の就職先のマッチングを探る		
14	これからどのように行動するか具体的に考える		
15	試験		
【成績評価方法】			
提出物評価50% テスト30% 授業態度20% 提出物は期限内提出と作成内容の総合評価			
【教科書・参考書】			
講師作成オリジナルテキスト(事前配布) 参考資料と提出課題は授業内で配布			
【教材・教具】			
PC(ネットワークに接続できるもの) 筆記用具 ノート(提出を求める場合がある)			

科目名	経営分析	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

貸借対照表と損益計算書が読めるようになり、財務諸表分析を行えるようになる。
簿記3級レベルの修得。

【科目の概要】

資産・負債・純資産・収益・費用の5要素の関係が理解できる。
貸借対照表、損益計算書を読むときのポイントをつかむ。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- 1 オリエンテーション、財務諸表分析とは
- 2 貸借対照表とは
- 3 資産・負債・純資産
- 4 損益計算書とは
- 5 収益・費用
- 6 売上原価・資本金
- 7 単式簿記
- 8 単式簿記
- 9 複式簿記
- 10 複式簿記
- 11 決算書
- 12 貸借対照表
- 13 損益計算書
- 14 まとめ
- 15 テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10% 理解力(小テスト,総合テスト)50% 提出物40%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

- ・柴山政行『いちばんわかりやすいはじめての簿記入門』成美堂出版2019年
- ・小沢浩『簿記がわかってしまう魔法の書』日本実業出版社2019年口

【教材・教具】

筆記用具・配布プリント

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【授業の到達目標】

アパレル商品の企画・生産・取扱いに必要な、素材の専門知識を持つ人材の育成を目指す。
アパレル素材の役割を理解し、繊維の専門知識を深める。

【授業概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。
講義を通じて繊維の機能性、加工による付加価値について理解。さらに布地構造による基本特性を修得する。
アパレル商品取り扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深める。

【授業計画】

前期

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
- 2 繊維の種類 繊維の長さ、太さ
糸・生地の種類(織物・編物)について
- 3 繊維の種類と特性
- 4 天然繊維・植物繊維(1)綿
- 5 天然繊維・動物繊維(1)毛
- 6 天然繊維・動物繊維(2)絹
- 7 化学繊維(1)再生繊維
- 8 化学繊維(2)半合成繊維
- 9 化学繊維(3)合成繊維
- 10 繊維に求められる機能と着心地
(生地の加工・機能性について)
- 11 織物の代表的な組織とその特徴
- 12 織物の代表的な組織とその特徴
- 13 編物の代表的な組織とその特徴
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

課題提出物 60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	服飾素材論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	井上真理

【科目の到達目標】

- ・服飾素材である繊維、糸、布の性質を習得する。
- ・持ち運びできる環境としての衣服を理解し、着心地を科学的に捉えることができるようにする。
- ・衣生活と環境との寒けについて知識を深め、衣服設計のための力を身につける。

【科目の概要】 ファッション産業の環境負荷の大きさが問題となっているという拝見がある。

- ・基本的な知識として服飾素材の性質を実物に触りながら知る。
- ・感覚的に判断している着心地を素材の特性から捉える方法について解説する。
- ・衣生活が環境に及ぼす影響について知る。

【授業計画】

後期

90分/コマ

- 1 イン트로ダクション
- 2 繊維の種類と性質
- 3 機能性繊維
- 4 糸、布の種類と性質
- 5 素材と洗濯
- 6 ヒトの体温調節・衣服内気候
- 7 布の熱・水分・移動特性
- 8 布の風合い、触感
- 9 動作しやすさと着やすさ
- 10 ファッションの近代史と現在の流行
- 11 学生の発表
- 12 学生の発表
- 13 衣生活と環境問題
- 14 衣服の消費と廃棄
- 15 まとめと試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

筆記用具

科目名	英語Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	60	作成者	佐藤紫乃

【科目の到達目標】

英語で自分の言いたいことが伝えられる、相手の言っていることが理解できることを目標とします。
前期ではそのための基礎となる、英文法・発音の知識を学び、英語の土台を身につけます。
後期では前期の学び活かし、スピーキングトレーニングでアウトプット力を身につけます。

【科目の概要】

卒業後多様な生き方を選んでいく学生にとって英語が身近にあることは必須となりつつあります。
英語が分かる、楽しい、と思えることは、学生自身の可能性を広げ、生き方にも影響していきます。
この授業では主にスピーキングに焦点を当て、基礎となる「発音」「文法」「単語」「アウトプット」を学び実践します。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	前期オリエンテーション	1	後期オリエンテーション 期末テスト振り返り、解説
2	発音基礎1	2	スピーキング:瞬間英作文
3	発音基礎2	3	スピーキング:瞬間英作文
4	発音基礎3	4	スピーキング:総合校留学生交流授業
5	発音基礎4	5	スピーキング:瞬間英作文
6	英文法1:言葉の種類、5つの文型	6	スピーキング:総合校留学生交流授業
7	英文法2:動詞、接続詞	7	スピーキング:瞬間英作文
8	英文法3:時制(現在、過去、未来、進行形)	8	スピーキング:瞬間英作文
9	英文法4:時制(現在完了形)	9	後期中間テスト(筆記・実技)
10	英文法5:助動詞	10	イタリア研修英語プレゼンテーション 導入
11	英文法6:不定詞、動名詞	11	イタリア研修英語プレゼンテーション 作成
12	英文法7:比較級、最上級	12	イタリア研修英語プレゼンテーション 作成
13	英文法8:受動態	13	イタリア研修英語プレゼンテーション 作成
14	英文法9:関係代名詞	14	イタリア研修英語プレゼンテーション 発表 ※テスト兼ねる
15	期末テスト	15	イタリア研修英語プレゼンテーション フィードバック

【成績評価方法】

提出物評価30% テスト(発表含む)50% 授業態度20%

【教科書・参考書】

竹林滋、清水あつ子、斎藤弘子 共著、『改訂新版 初級英語音声学 CD付』大修館書店、2013
渡辺いづみ 監修、『中学英文法 Fine[改訂版]』、Z会、2021

【教材・教具】

講師:ノートパソコン、モニター、ホワイトボード
学生:筆記用具、A6サイズ(5号)ノート、スマートフォン、ノートパソコン

科目名	産業論	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義50% 実習50%
時間数	30	作成者	山口 真衣子

【科目の到達目標】

多様な産業を認知し、各産業に従事する人々をターゲットとしてイメージできるまで理解する。
各産業ごとのつながりを理解し、事業展開の発想力を磨く。

【科目の概要】

ファッション産業に従事し、ビジネスプランを立案するような立場に立った時、業界内に留まらず、別産業や地元産業に目を向けて、コラボレーションや新規ターゲットの可能性を柔軟に発想できる基礎知識を身に着けることを目指す。

【授業計画】

後期

90分/コマ

- 1 オリエンテーション 自己紹介/授業の進め方について
- 2 産業論①産業の全体像 定義、種類、特徴等
- 3 産業論②ファッション産業の概要と歴史
- 4 身の回りのカオスマップ制作(※提出物扱い)
- 5 産業論③各産業の特徴、従事する人々の掘り下げ
- 6 産業論③ //
- 7 産業論④産業の発展と展開
- 8 地元産業の情報収集&リサーチ
- 9 地元産業の情報収集&リサーチ
- 10 地元産業のカオスマップ制作(※提出物扱い)
- 11 既存商品コンセプト改修のプレゼンテーション準備
- 12 仮発表、フィードバック(※提出物扱い)
- 13 仮発表、フィードバック(※提出物扱い)
- 14 プレゼンテーション(※提出物、テスト扱い)
- 15 プレゼンテーション(※提出物、テスト扱い)

【成績評価方法】

提出物評価60%、テスト30%、授業態度10%

【教科書・参考書】

スライドのみ

【教材・教具】

個人PC、スマホ

科目名	ロジカルシンキング	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	近藤浩章

【科目の到達目標】

1. ロジカルシンキングの基礎的なツールや知識を理解する。
2. 物事の理解、説明、文章の執筆においてロジカルシンキングの手法を活用できる。
3. 学生がロジカルシンキングを日常的に使いこなし習慣化する。

【科目の概要】

ファッションビジネスのみならず、一般的なビジネスにおいて状況分析やコミュニケーションが重要であることは言うまでもない。本科目では、ロジカルシンキングの基礎的なツールや知識を習得したうえで、事実や数字を用いた説明や説得的な文章の作成、ビジネスにおける活用など実践的な力の習得を目指す。

【授業計画】

前期

90分/コマ

- 1 講義の目的と概要
- 2 ロジックツリーで考える
- 3 モレなく、ダブリなく(MECE)
- 4 演繹法
- 5 帰納法
- 6 数字から問題を把握する
- 7 数字を使いこなす
- 8 説得力ある文章を書く①
- 9 説得力ある文章を書く②
- 10 説得力ある文章を書く③
- 11 説得力ある文章を書く④
- 12 ビジネスでの活用①
- 13 ビジネスでの活用②
- 14 自分自身を表現する自己紹介
- 15 ロジカルシンキングまとめ

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト50% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

参考書『ロジカル・シンキング 第2版』日本経済新聞出版社 平井孝志他著 2022年

参考書『ロジカル・シンキング練習帳』東洋経済新報社 グロービス著 2020年

【教材・教具】

筆記用具、PC

科目名	美術史・デザイン史	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70% 実習 30 %
時間数	30	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

現在のファッションを成立させてきた西洋文化の美術やデザインの歴史的背景と動向を理解し、ファッションデザインの意味を多様な視点で読み解く基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾文化は、西洋社会の文化的な背景と密接に関わりながら、現在のファッションを成立させている。特に高度な消費社会を迎えた20世紀において、西洋の美術、造形・デザインにおける潮流や著名な作品を解説しながら、ファッションを文化的な現象として体系的に解説する。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 授業指針説明
01 ゴシック 02 ルネサンス 03 グーテンベルグ 04 バロック 05 ロココ
- 2 06 アーツ&クラフツ 07 ジャポニズム 08 ベル・エポック 09 アール・ヌーヴオー
- 3 10 ユーゲント・シュティール 11 ウィーン工房 12 ドイツ工作連盟 13 キュビズム
- 4 14 未来派 15 ロシア・アヴァンギャルド 16 ダダイズム 17 モダニズム
- 5 18 デ・スティール 19 バウハウス 20 アール・デコ 22 インダストリアルデザイン
(小テスト)
- 6 23 インターナショナル・スタイル 24 ミッドセンチュリー 27 CIデザイン 28 スイス・スタイル
- 7 21 アイソタイプ 25 オーガニックデザイン 26 プロバガンダ 29 オプ・アート
- 8 30 スカンジナビアン・モダン 31 ウルム造形大学 32 ミニマリズム 33 スペースエイジ
- 9 34 ブリコラージュ 35 サイケデリック 36 アーキグラム 37 東京オリンピック1964
- 9 38 ヒプノシス 39 スーパーリアリズム 41 ポストモダニズム 45 メンフィス
(小テスト)
- 10 42 ノーデザイン 43 ユニバーサルデザイン 44 アフォーダンス 46 サステナビリティ
- 11 47 エコデザイン 48 トマト 49 ドローグ(アノニマス) 50 クリエイティブ・コモンズ
- 12 51 UI/UXデザイン 52 ソーシャルデザイン 53 コミュニティデザイン
54 インタラクションデザイン
- 13 55 コミュニケーションデザイン 56 オルタナティブ 57 クオリア 58 ソニフィケーション
- 14 59 フラットデザイン 60 パーソナルファブリケーション 授業まとめ
- 15 試験

【成績評価方法】

試験50% 課題・小テスト40% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『絵ときデザイン史』 2015/9/17 石川 マサル (著), フレア (著)
『デザインの20世紀 (NHKブックス)』 1992/11 柏木 博 (著)

【教材・教具】

PC 投影モニター レジューメ

科目名	トレーニングタイムⅡ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	30	作成者	杉山 佳美
【科目の到達目標】 2年次前期のイタリア・フィレンツェ研修に向けて、事前学習を行いしプラン設定が出来る。 現地での体験を通し国内外のファッションデザインの相違や共通性について考察できる。			
【科目の概要】 目的地であるイタリアのファッションブランドや現地の地理を調べ、理解を深めた上で研修に臨む。帰国後はフィードバックから情報収集し、学んだ内容を文章化・ビジュアル化し他者に伝える媒体を作成する。			
【授業計画】 90分/コマ		後期	
1	イタリア研修説明会		
2	イタリアブランド調べ		
3	イタリアブランド調べ		
4	ブランド発表		
5	イタリア基本情報レクチャー/計画表作成		
6	イタリア基本情報レクチャー/計画表作成		
7	イタリア基本情報レクチャー/計画表作成		
8	研修レポート作成		
9	研修レポート提出		
10	イタリア研修プレゼン作成		
11	イタリア研修プレゼン作成		
12	イタリア研修プレゼン作成		
13	プレゼンリハ		
14	プレゼンフィードバック・修正		
15	テスト		
【成績評価方法】 提出課題の評価 60%、 期末試験 30% 授業態度 10%			
【教科書・参考書】 課題によってプリント配布			
【教材・教具】 筆記用具 PC 配布レジュメ 画像投影用大型TVモニター			

科目名	海外研修 I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期 8日間
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	リサーチ50% 講義50%
時間数	60	作成者	杉山 佳美

【科目の到達目標】

研修先に赴き、現地の言語での講義を受講し、マーケティングやマーチャンダイジング等の知識を得る。
帰国後、現地の市場をリサーチした内容をプレゼンテーション発表する。

【科目の概要】

学校の授業で得たビジネス及びマーケティング等の知識と、英会話を基に現地の市場を視察、調査する。
更に世界のトップブランドの生産工場見学で、川上から川下までの全体像を観る。
また、海外のファッション都市の文化的背景やファッション市場の知見を広め、今後のビジネス展開に生かす。

【授業計画】

後期

90分/コマ

- ・現地ファッションスクールにて授業受講(1日目)
 - ・イタリアファッションの歴史・ファッション産業の概要 ・サプライチェーン
 - ・著名ブランドの現在の取り組み事例
 - ・現地セレクトショップ見学、トレンドリサーチ
- ・現地ファッションスクールにて授業受講(2日目)
 - ・ブランディング手法 ・ブランドコンセプトの事例分析
 - ・消費者ニーズとターゲット分析
 - ・ワークショップ〈プロダクトデザイン〉 レザーを使用したアイテム提案
- ・企業見学
 - ・バッグの生産工場見学
 - ・美術館見学 ハイブランド美術館見学
 - ・ウフィツィ美術館 / 衣装博物館
 - ・サルバトーレ・フェラガモ美術館
 - ・グッチガーデン
 - ・アルマーニ・シーロス
- ・市内リサーチ
- ・帰国後
リサーチレポートまとめ

【成績評価方法】

事前のリサーチ計画表提出/研修先スクールでの課題/授業受講態度/リサーチ報告レポート

【教科書・参考書】

【教材・教具】

筆記用具 カメラ PCなど